

【面接】重要ポイント ベスト3



第1位 第一印象!

目から5割、耳から4割、話は1割

挨拶、礼儀は大変重要。一度持たれた印象は変えがたい。

【態度・服装】

服装に不快感はないか？

TPO をわきまえているか？

落ち着きはあるか？

動作はてきぱきとしているか？

【表現力】

声は明瞭か？

人にわかるように説明しているか？

話に主体性（主語は「私」）はあるか？

話に論理性、一貫性はあるか？

【意欲・積極性】

入社への意欲は？

仕事を正しく理解しているか？

困難に立ち向かえるか？

必要な自己主張は？

【協調性】

組織に適応できるか？

人間関係は円滑に対応できるか？

独善的でないか？

相手の立場を考えることはできるか？

【堅実性】【責任感】【信頼感】

誠実か？

仕事は最後までやり遂げられそうか？

意思は強いのか？

他人から信頼されそうか？

第2位 決して嘘はつかない!

正直に、でも正直過ぎないことが大切

学歴、経歴、資格免許のウソは絶対だめ

正直過ぎて、自信がないことは「できません」と答えない。「興味はありますし、勉強も始めております。」と前向きな意見で対応しよう。

第3位 聞かれていないことをベラベラしゃべらない!

質問はピンポイントで答えよう

ピンポイントで質問に答えることは、自分の価値を高めます。

聞いていないことをベラベラしゃべられるのは、採用担当者は苦痛です。

【面接】鉄則：6か条

【鉄則1】相手の視線を受け止める

- ・面接官の視線は受け止めても睨み合うのではなく、目線は面接官の口元へ
- ・自信に満ちた堂々とした態度で答える

【鉄則2】明瞭簡潔に答える

- ・一つ一つの質問に明瞭簡潔に答え、次の質問を待つ（質問に対し、無言は厳禁）
- ・ハキハキとテンポ良く、会話のリズムを大切に

【鉄則3】過去のことより未来をアピールする

- ・面接官が期待するのは、あくまでも入社後の未来である
- ・過去の実績が、その会社の将来にどのように役立つ可能性があるかをアピール

【鉄則4】積極的な印象を与えよう

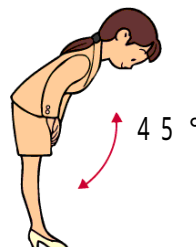
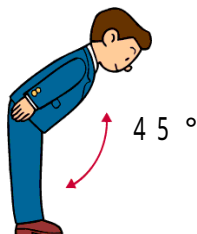
- ・面接官が最も敬遠するのは、消極的で覇気が感じられないタイプ
- ・ここで働きたい！という積極性が伝わるように言葉・態度で印象づけよう

【鉄則5】知ったかぶりは、失敗のもと

- ・つい背伸びしたくなるが、分からないことは分からないと答えるほうがプラス
- ・知ったかぶりは、誠実な印象を与えず、結果としてマイナス

【鉄則6】一生懸命が基本

- ・面接での受け答えは、必ずしもスマートである必要は無い
- ・むしろ、たどたどしくても熱意や一生懸命さが好印象を与える



【面接】 成功する人

事前準備



事前に、求人募集内容をよく調べている
 事前に、会社の経営内容をよく調べている
 事前に、募集内容と相性が合うか確認している
 事前に、履歴書の書き方について検討している
 事前に、職務経歴書についてよく検討している
 事前に、資料やデータを準備している
 事前に、話し方の練習を何回もしている
 事前に、条件面で配偶者の了解を得ている
 事前に、会社の様子を実査している

面接直前



服装の点検が出来ている
 携帯電話の電源を切る
 説明資料を用意して持参している
 面談に対する積極的な心構えが出来ている
 面談定刻10分前か15分前には到着している
 受付の方に来意を告げている

面接中



面接者が入室したらすぐに立って笑顔で挨拶した
 お茶のサービスには目礼をした
 腕組み、足組み、貧乏ゆすり等は全くしなかった
 ソファの場合、普段と違って浅く掛けた
 相手の目を見て話すようにした
 明るく素直な感じで話し、話にメリハリをつけた
 相手が質問している間は、口を挟まなかった
 しゃべり過ぎずに、聞かれたことを的確に答えた
 前職の上司や会社の悪口を言わなかった
 質問の意味が分からない時は積極的に確認した
 勤務条件についてはメモを取り確認した
 あらかじめ質問事項を用意していた
 この会社にどうしても入りたいと言う心構えで臨んだ
 強みが活かせ、相手企業にもプラスになると信じた

面接後



結果通知の期日を確認した
 面談終了後、椅子の横に立ち、丁寧に謝意を表した
 廊下であった方達には軽く会釈した
 面談終了後、その日のうちにお礼状を出した

【面接】よく出る質問 ベスト7

第1位 どのような仕事をしていましたか？

仕事の流れを説明しつつ、役割を具体的に説明

的確に答えないと実務能力が疑われてしまう場合があります
自分にできる事と、できない事をハッキリと相手に伝えることが重要

第2位 なぜ以前の会社を辞めたのですか？

以前の会社の悪口を言わない！のが鉄則

人間関係を理由にした場合は、協調性が疑われることもありますから「キャリアアップ」や「経験を活かしたい」等、前向きな答えを考えておこう
転職回数が2回、3回と増えるに従い「働くことが長続きしないのでは？」と受け止められる場合もあるので、転職の理由はその都度、納得できるものであるように答えを考えておこう

第3位 当社への応募動機は何ですか？

「仕事への意欲か？」「給料等の条件に惹かれているのか？」会社は探っている

熱意ある志望動機を持っているかが選考のポイントです
事前に応募の会社のことや、求めている職務の内容を調べて、その会社に自分は貢献できることがあるということを前面に出した答えを考えておこう

第4位 残業があっても構いませんか？

仕事への意欲を確認

「残業はできません」と言うだけの答え方だと採用は厳しい
どうしても残業が出来ない事情がある場合は「どの程度の残業でしょうか？」等の質問をした上で、残業できない理由を説明して妥協点を見出そう

第5位 前の会社の給料はいくらでしたか？

本人の希望と会社の希望との間にギャップが無いかを会社は探っている

金額については、以前の内容を正確に把握しておこう
希望額を高く言い過ぎると周りへの配慮が欠けるという面でのマイナスになりますから注意しよう
休日や給料の質問は自ら言い出すことは避けよう

第6位 他にどんな会社に応募していますか？

採用を前向きに考えている場合、競合はあるか確認

他社を受験していると答えた場合は、不利になるのでは？と考えがちですが、会社の人事担当者は「あまり影響は無い」と答える方が多いようです
「他社も面接を受けていますが、御社が第一希望です」のように、熱意が伝わるような答え方をしよう

第7位 いつごろから入社できますか？

在職者の方は、答え方に注意

離職中の方は、特に問題が無ければ「御社の予定に合わせて、いつでも入社できます」と伝えるのが良いでしょう
在職中の方が同じ答えをすると「仕事への姿勢や責任感」を疑われる場合もありますから注意が必要です
引継ぎ終了予定日を伝えて日付を設定するようにしよう
「旅行の予定が入っている」等は、仕事への意欲不足と疑問を持たれかねないので注意しよう



採用担当者に聞きました

①

応募書類

こんな方を採用したい

応募書類は、透明なファイルに入れ、二つ折りで入れられる B5 か A4 サイズの封筒に入れて送られてきた。

丁寧に書かれた履歴書で、職務経歴書も簡潔にまとめられていた。

送付状が同封され、応募のきっかけ等簡潔にまとめられていた。また、連絡先、連絡時間帯も書かれており、採用担当者の知りたい内容が添えられていた。



電話のマナー



「先日応募させて頂いた ですが」と、まずフルネームを名乗られ、次に「お忙しいところ恐れ入ります」、そして「今お時間よろしいでしょうか」と、採用担当者の都合を気遣ってくれた。問い合わせ電話は、昼休みと出社・帰社時刻の前後など、忙しい時間を避けられてかけられてきた。

電話は、静かな場所からかけられてきた。

面接のマナー

「本日 時に面接のお約束をさせていただいている です。人事ご担当の 様にお取次ぎをお願いします」と、笑顔で挨拶された。志望動機と経験職種内容がしっかりとまとめられ、質問の答えも語尾がしっかり聞こえ、話も分かりやすい。

あやふやな部分を聞き直し質問され、内容を理解してもらえた。

プラス思考の会話が多く、採用してみたいと思った。

応募者に「質問は？」と聞いたら、初歩的な質問ではなく、採用後の具体的な質問がなされ、しっかりした印象を得た。

面接の後日、お礼状が届いた。



採用担当者に聞きました

②

好ましくない方

応募

応募書類が空欄だらけで、志望動機はおろか、ほとんど記入されていない。志望動機が「御社の将来性」のみの記載。志望動機は、なぜ志望するのか、主語述語を入れた文章で書かなければ、意欲も人物像も伝わらない。華々しい経歴が、支離滅裂な文章で書いてある。履歴書に写真が貼られていない。貼ってあってもTシャツ姿のスナップ写真。履歴書の文字がピンクのボールペン。誤字脱字も多くて、修正液まで使っている。応募書類が四つ折になり、小さな封筒にぎっしり詰まって送られてきた。封筒の社名が間違っていた。株式会社が社名の前と後逆に書かれていた。応募書類を送ってすぐに結果を催促。催促しただけで不採用になることはないが、1週間は待つのがマナー。



電話



会社から携帯電話に連絡を入れても、着信番号を見て「知らない番号」と思って電話に出ない応募者が多い。採用担当者の不在を伝えると、「じゃあ折り返し電話ちょうだい」と言い残して電話を切られた。自分の名を名乗りもせず、いきなり友達口調でいろいろ質問してきた。ペットが吠えていたり、テレビが点いていたりして、声が聞き取りにくい。会社の場所がわからないと言われ、何度も電話で説明した。

面接

面接中に携帯電話が鳴った。控え室で、携帯電話でメールのやり取りをしていた。勧めもしないのに椅子に腰を下ろし、足を組まれた。面接中、下ばかり向かれて目を見て話ができなかった。ほとんど聞き取れない小さな声でボソボソ話された。質問以上の内容を応募者にしゃべられ、時間がなくなり困った。履歴書の志望動機と会話中の志望動機が違った。香水がきつく、不快な印象が残った。事務又は営業（ホワイトカラー）の職種の応募に、スーツ姿でなかった。退職理由を聞くと、前会社の悪口ばかり言われた。採用するとうちも悪口を言われそう。

